

経営理念実現のためにDXを駆使し、業務遂行力を飛躍的に向上させます

ミネベアミツミグループでは、経営理念実現のためDXを有効な手段として活用し、グループすべての事業部で業界最高水準の生産性への向上を目標に掲げています。そのため当社グループではAI・DXを経営資本強化策として推進していきます。

取り組み概要

Step4 DXを有効な手段として活用

Step3 デジタル・インテグレーション
 ・手書き情報、サイロ化、分断されたデータを統合
 ・データを貴重なリソースに転換

Step2 データの有効活用
 ・社会、技術の変化に対応したITの構築
 ・リアルタイムに「データを可視化」し、提供する
 ・最新状況と事実の分析に基づいたスピード経営をサポート

Step1 成長と発展のための変革
 ・成長への情熱を燃やす
 ・価値あることを、速く

業務改革こそがDXの本分です。
 人財情報を経営にいかすための
 人事管理プラットフォームの構築と人事情報の一元化、
 さらに、クラウド型 営業管理 (SFA) ・顧客管理 (CRM)
 プラットフォームの導入により業務の効率化、
 製造データとの連携を確立し、
 製販一気通貫のワークフローを
DXで実現していきます。

DX推進に向けた課題認識と解決策 / 対応状況は下記のとおりです。

課題	解決策 / 対応状況	
社員のデジタル受容度	社員のデジタル受容度向上	<ul style="list-style-type: none"> ビジネスコミュニケーションツール等の導入により、社員のデジタル受容度、デジタル・リテラシーは向上中 デジタル人材育成により、変革の推進力とスピードがアップ 各現場と連携し、目的を明確化することに注力できる体制を整備
システムの効率性	システムの効率性追求	<ul style="list-style-type: none"> データアクセス、分析、分析結果のアクションの効率性を重視 データ活用を前提に、新たなビジネスモデルを構築中 DXにつながるDI (データ・インテグレーション) を推進し、可能な価値提供を検討
セキュリティ問題	セキュリティ対策	<ul style="list-style-type: none"> クラウド活用に向けた運用環境の整備 ゼロトラストセキュリティ対策の早期実現 (すべての通信を信頼しないことを前提に、さまざまなセキュリティ対策を講じる)

CDXO (Chief Digital Transformation Officer) コメント

ゼロトラスト セキュリティ対策を推進しながら、新たなビジネスモデルを構築します

2020年8月に私一人でスタートしたAI・DX推進部門は、1年間で15名の部門に成長しました。

DXを有効な手段としてフル活用し、グループの経営理念の実現と、すべての事業部における業界最高水準の生産性の向上を目標に、当社グループの発展と成長に貢献していきます。

発足後のおよそ9か月間で、クラウドを活用したビジネスコミュニケーション・ツールの導入や、e-Learningプラットフォーム「ミネベアミツミ・アカデミー」のサービスをおこない、社員間の知識の共有を促進し、デジタル受容度が大きく向上しています。また、今後はゼロトラストセキュリティ対策*を推進しながら、社内のデータへのアクセス、分析結果のアクションへの連携を加速し、グループ間におけるデータの共有、有効活用や、重複作業の回避を前提とし、新たなビジネスモデルを策定する予定です。



CDXO
佐内 桐梧

お客様やステークホルダーへ価値を提供するDX

社会課題解決につながる新たなビジネスモデルを構築

当社グループの各事業本部、事業所でアサインされている「DXアンバサダー」との連携を密接におこない、IoT、AI、5G、等の最近のテクノロジーを利用し、高い技術力を擁する精密部品のサブスクリプション・モデル等の新たなビジネスモデルの構築を目指します。

*ゼロトラストとは「すべてを信頼しない」ことを前提に対策を講じるセキュリティの考え方。従来のセキュリティ対策のように、信頼できる「内側」と信頼できない「外側」の境界線で対策を講じる方法から、より厳しいものへと進化しています。